しらさぎ

求めて学ぶ　考えて行う　自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより　NO.５
（通巻７４号）
平成２７年（2015）
５月１９日（火）

『修学旅行　無事終了』

校長　飯野　博史

１３日（水）～１５日（金）、修学旅行を実施しました。心配していた台風６号も無事通過し、初夏の奈良・京都を満喫しました。

出発式で、私は教育目標に関連させて、古い日本の伝統や文化を「求めて学ぶ」姿勢を大切にすること、快適な集団生活を送るため「考えて行う」習慣を身に付けること、一人一人が修学旅行を「自ら鍛える」場とすること、という話をしました。

生徒たちには、自分たちで楽しい修学旅行にしようという意気込みが感じられ、見事に期待に応えてくれました。とくに今回は、明日香村商工会を通して２６軒の民家にお願いし、班毎に分かれて一泊させていただきました。農作業のお手伝いをしたり、史跡を案内してもらったり、現地の方との交流を深めることができました。生徒たちは「楽しかった」「もう一泊したかった」など、満足した表情で戻ってきました。京都市内班別行動もきまりを守り、協力して成果をあげることができました。

２日目夜の清水焼絵付け体験の後のこと、生徒たちが退出したあと、椅子がやや乱雑になっていました。見ていると、一人の男子生徒が黙々と椅子を整え、床に落ちたゴミを拾っています。係でもなく、先生に指示されたわけでもなく、ましてや先生に褒められようとしているわけでもなく、ごく自然に自分から進んで取り組んでいました。目立たないことですが、このような気遣いのできる生徒がたくさんいることが修学旅行の成功につながっているのだなと感じました。修学旅行で学んだことをこれからの学校生活にいかしていきます。３学年の保護者の皆様には、旅行積立金へのご協力などありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

※「平成２７年度学校経営方針」をホームページにアップしました。ぜひご覧ください。
裏面に概要を掲載しました。

平成27年度　目黒区立第八中学校　学校経営方針

校長　飯野 博史

保護者・地域の願い	学校教育目標	めぐろ学校教育プラン
・落ち着いた学校生活・授業 ・確かな学力の定着・向上 ・心の教育の充実	・求めて学ぶ ・考えて行う ・自ら鍛える	・魅力ある学校 ・活力ある学校 ・信頼される学校

『信頼関係を基盤とした心を育てる学校づくり』

平成27・28年度 東京都教育委員会人権尊重教育推進校

『チーム八中』アクション・プラン(3か年計画・1年目)

1 人権教育の研究と推進 ・人権教育についての理解と推進、組織的な研究 ・日常的な人権教育の推進、実践 ・全体計画、年間指導計画の作成 ・個別的な視点を意識した教育活動の推進 ・教職員の人権感覚の向上・研鑽	**2 心の教育の充実** ・心を育てる生活指導 ・道徳教育、道徳授業の重視 ・全教育活動で関連を図り、組織的に推進 ・E組との日常的な交流、命の授業(2学年) ・教室環境、言語環境の整備
3 組織的な授業改善 ・授業規律の確立、授業マニュアルの作成 ・「学習カード(振り返りシート)」の活用 ・精度の高いきめ細かな評価、指導と評価の一体化 ・言語活動の充実＝思考力・判断力・表現力の育成 ・課題解決的な学習の充実、個に応じた指導	**4 学年・学級経営の充実** ・よりよい人間関係、雰囲気づくり、日常的な教育相談 ・自己肯定感を高める指導の工夫 ・3年間を見通した計画的な進路指導 ・落ち着いた生活・学習習慣、規範意識の確立 ・報告、連絡、相談体制の確立
5 魅力、特色づくり ・朝の読書(毎朝10分間)、全校トイレ掃除の実施 ・学校行事(運動会、学習発表会等)の充実 ・部活動の充実 ・放課後学習教室、土曜学習教室の計画的な実施 ・キャリア教育、情報モラル教育、セーフティ教室	**6 地域・保護者との連携** ・親切、丁寧、誠実な対応 ・地域の教育力の活用、外部団体との連携 ・情報の発信と説明責任(学校だより、学年だより、HP) ・地域行事への積極的な参加 ・学校公開、学校評議員、学校評価の活用
7 安全、安心 ・いじめや不登校の早期発見、対応 ・防災教育の充実、計画的実施 ・非常時の対応についての指導、地域との連携 ・日常的な施設点検、事故・不審者対応の徹底 ・校内予算の計画的な執行	**8 小・中の連携** ・道徳授業で共通理解を深める ・授業、部活動体験の実施 ・教員間の交流授業、情報交換 ・計画的な連携・内容の確立 ・こども育成プランの確実な実施
9 人材育成 ・主幹、主任の育成 ・若手教員の組織的な育成 ・日常的なコミュニケーションの重視 ・日常的な授業観察・助言、授業観察メモの活用 ・組織としての課題解決力の向上	**10 その他重点項目** ・国語・英語(ガイドライン)の少人数授業の定着 ・いじめ防止委員会、いじめ防止基本方針策定 アレルギー対応委員会、SCの活用 ・戦後70年、開校記念日運動会、オリンピック教育 ・ICT機器、電子黒板の活用